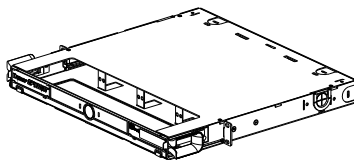
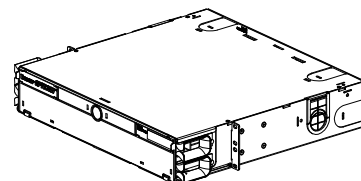


FCE1U



FCE1UA



FCE2U

梱包内容：（ ）の数量はFCE2Uの梱包数量を示しています。

- | | | |
|--------------------------|-------------------------|----------------------|
| 1 - エンクロージャー | 3 (4) - ケーブル引き込み口用ブッシング | 4 - #12-24 x 1/2" ネジ |
| 2 (3) - タックタイ | 4 - #M6 x 1 ネジ | 1 - 警告ラベル |
| 2 (3) - タックタイ用粘着テープ付き固定具 | 1 (2) - ストレインリリーフブラケット | 1 - レーザー光線警告ラベル |
| 2 - 光ファイバースプール | 4 - 結束バンド（型番：PLT2S-M0） | 3 - 粘着テープ付きコードクリップ |
| 1 (2) - #10-32 x 3/8" ネジ | 2 (4) - ブランジャーおよびグロメット | |
| 3 (4) - #10-32 HEXナット | 2 (4) - ケーブル管理クリップ | |

警告：接続していない状態のコネクタはレーザー光線を放射している可能性があります。コネクタの終端を直接目視したり、顕微鏡などで見ない てください。接続していないコネクタにはダストキャップを取り付けてください。

注意：光ファイバーケーブルは、過度の張力・屈曲・圧迫によって破損する恐れがあります。ケーブル製造会社の仕様書や取扱説明書に従い作業を行ってください。成端の際は、TIA/EIA 568-A、569、606および607に従ってください。

ファイバー製品を保護するため、エンクロージャーの引き出しの開閉は十分注意して行ってください。

アセンブリー

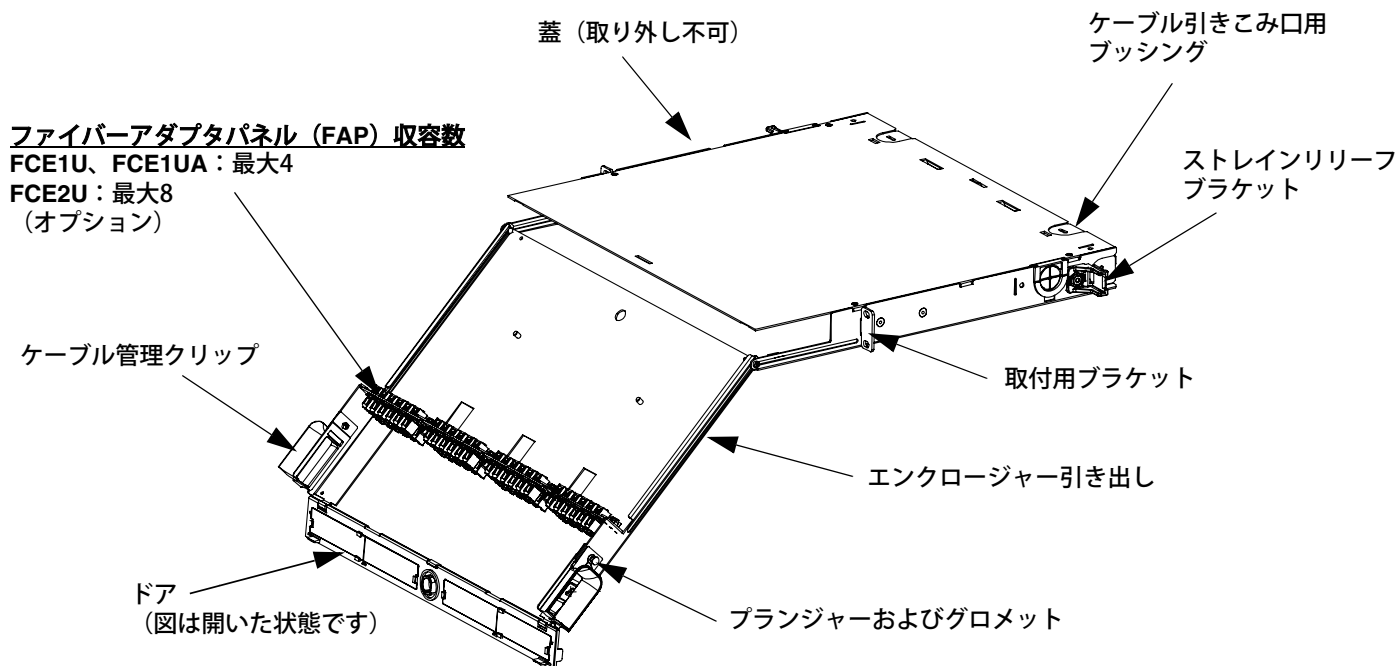


図 1

ラックへの取り付け

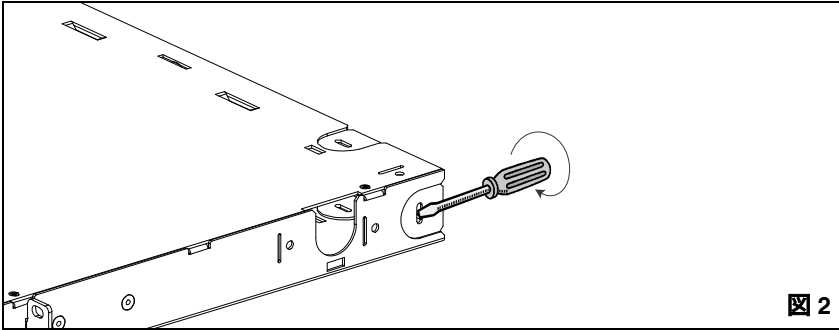


図 2

エンクロージャーのどの位置からケーブルを引き込むかを決定します。トレーのケーブル引きこみ口に取り付けられているロックアウトを、周りを傷つけないよう注意して取り外します。

この時点ではまだブッシングを取り付けないでください。ブッシングはエンクロージャーをラックにマウントした後に取り付けます。

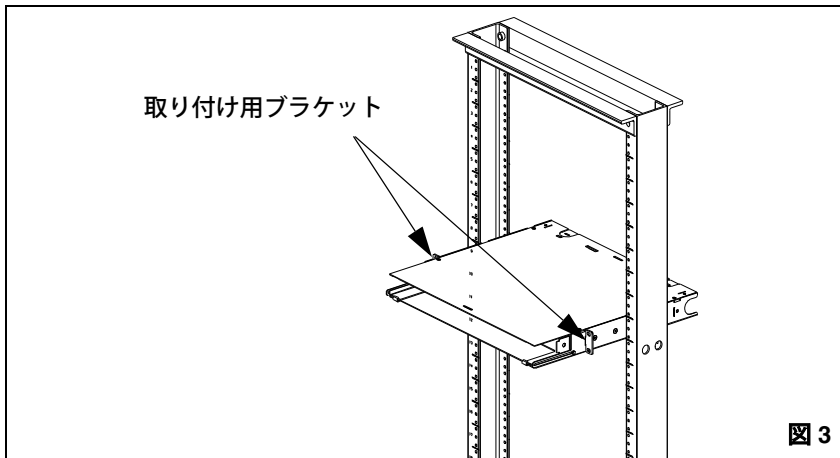


図 3

ラックへの取り付け位置に、エンクロージャー取り付け用ブラケットを設置します

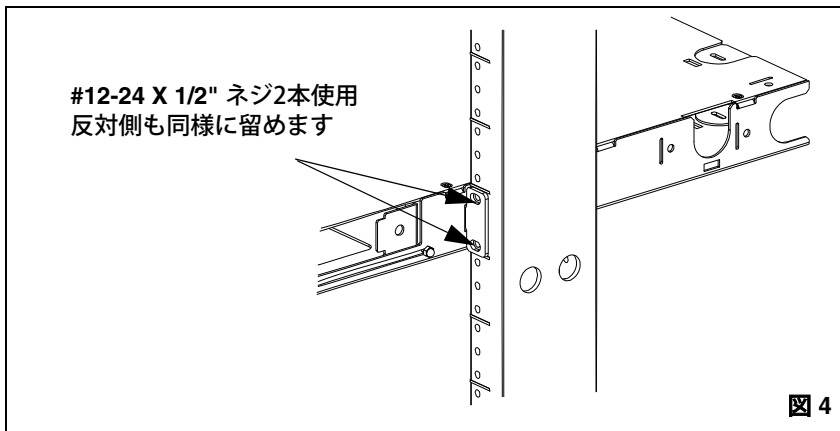


図 4

#12-24x1/2"ネジ4本を用いてエンクロージャーをラックへ取り付けます。

Metricラックを使用する場合は、M6x1ネジを使用します。

ブッシングの切り取り

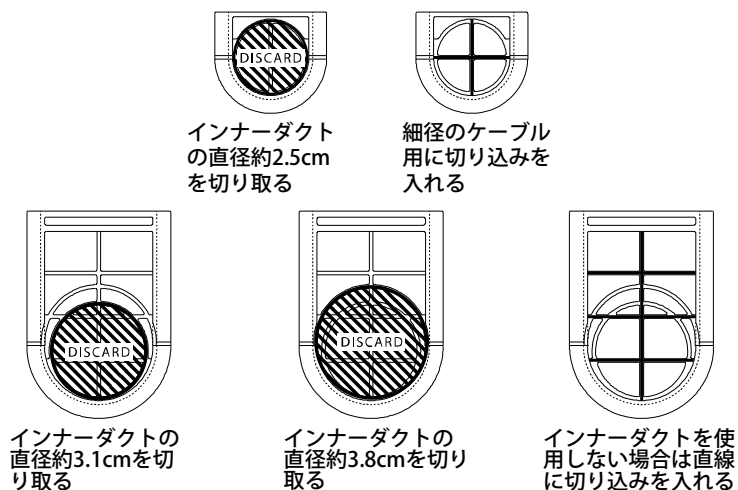


図 5

ラックにエンクロージャーを取り付け、ケーブルを引き込む際に使用するインナーダクトのサイズを決めます。

図5を参考に、ブッシングを適切なサイズに切り、取り付けの準備をします。

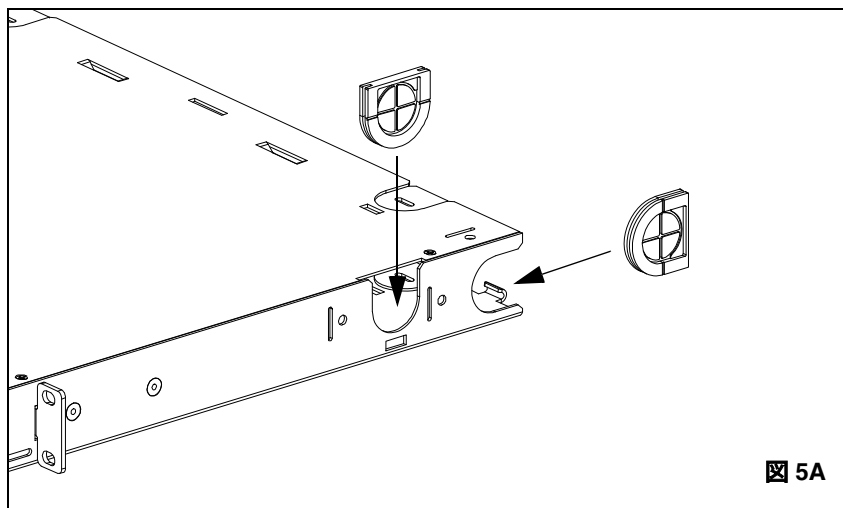


図 5A

ブッシングを取り付けます。

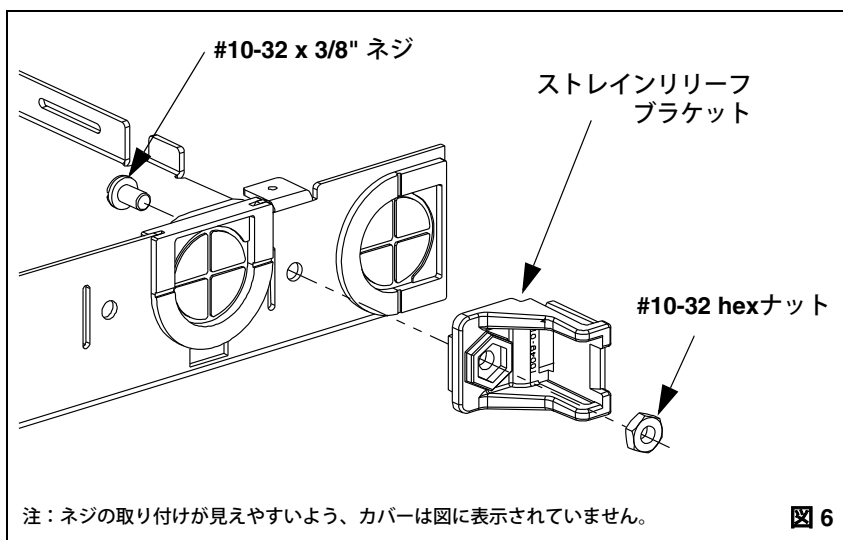
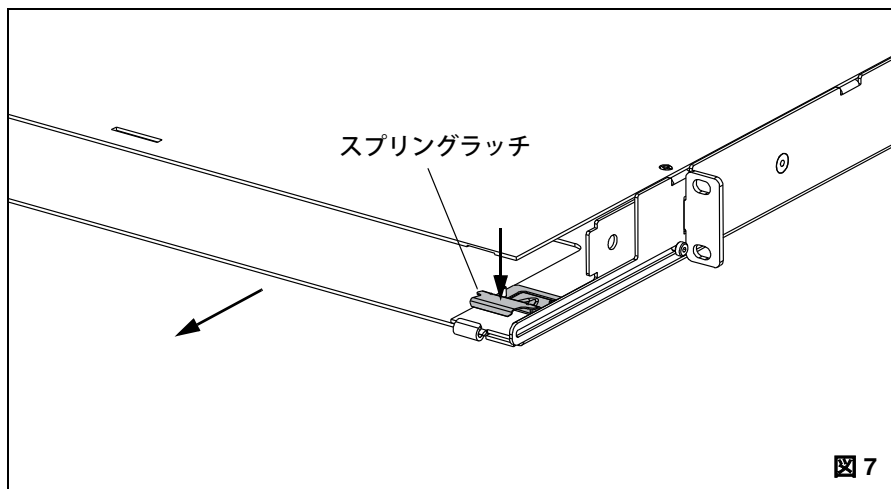


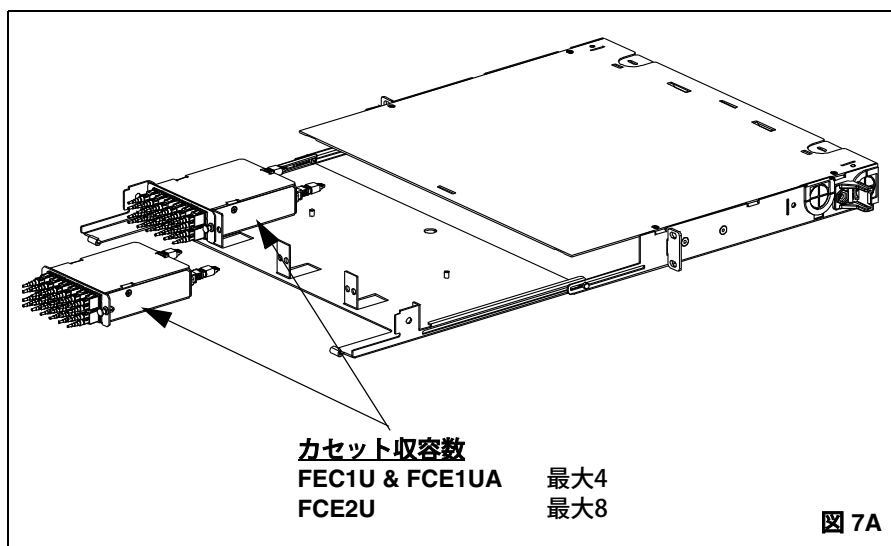
図 6

ケーブル引き込み口のすぐ近くにストレインリリーフブラケットを取り付けます。
#10-32 x 3/8 "ネジおよび#10-32HEXナットで固定します。

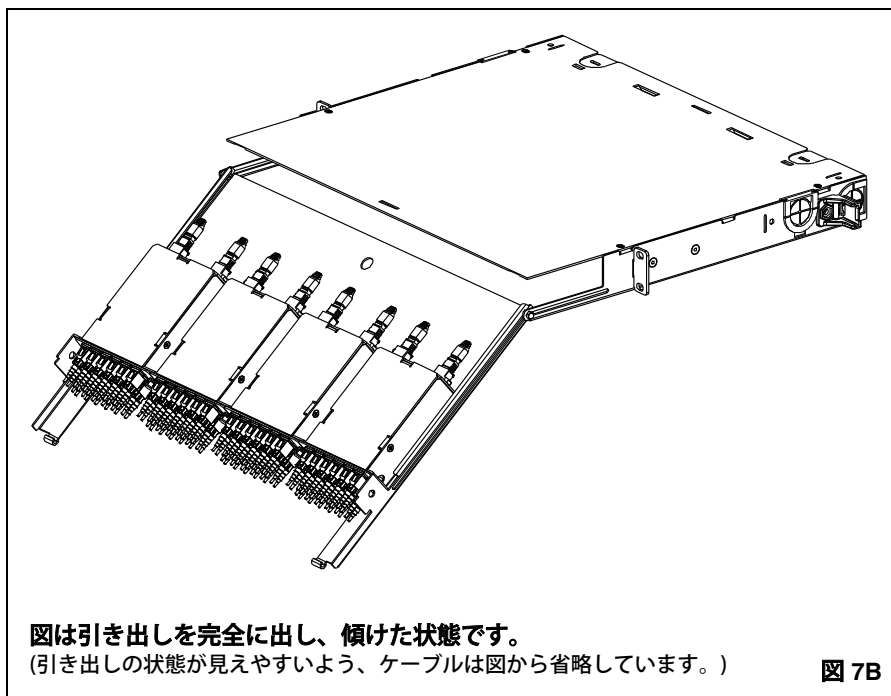
QuickNet カセット取り付け（カセット別売り）



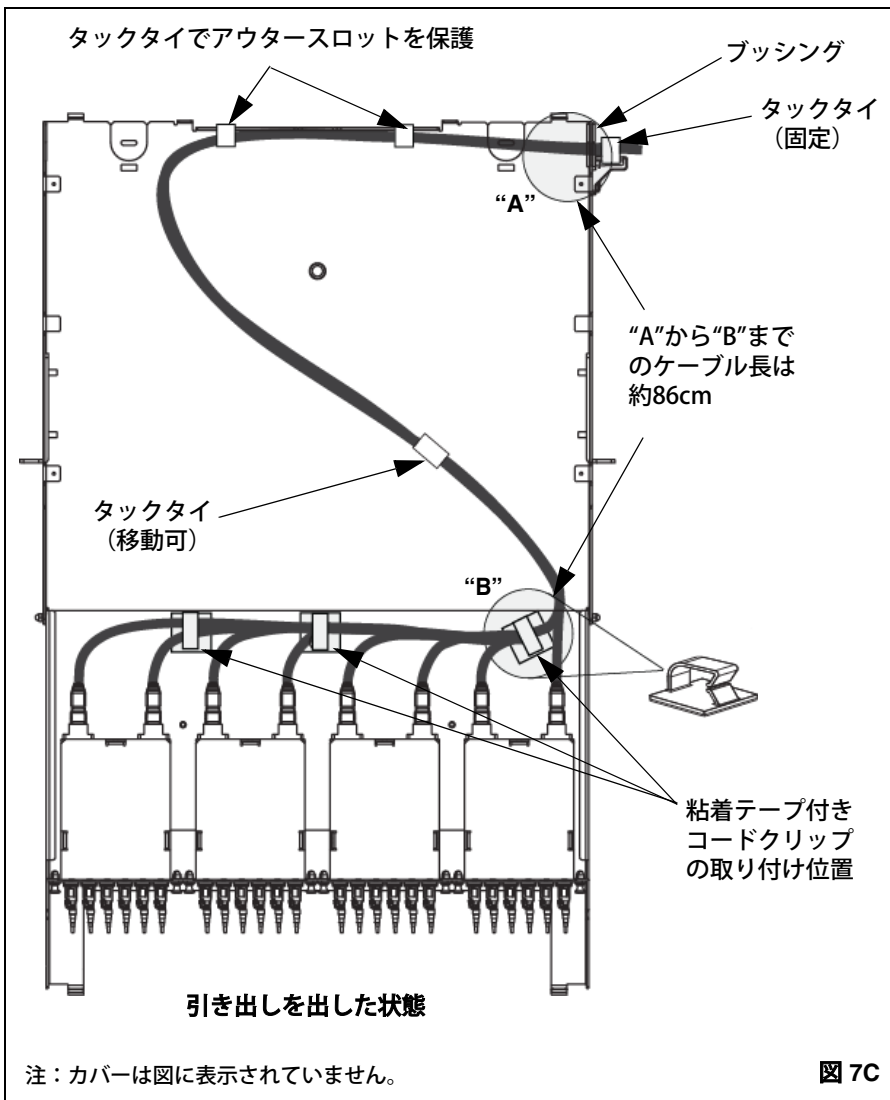
スプリングラッチを押して、スライドトレイを引き出します。



図のようにQuickNet プレターミネート光ファイバーカセットをエンクロージャーに取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとめ、カセットを固定します。

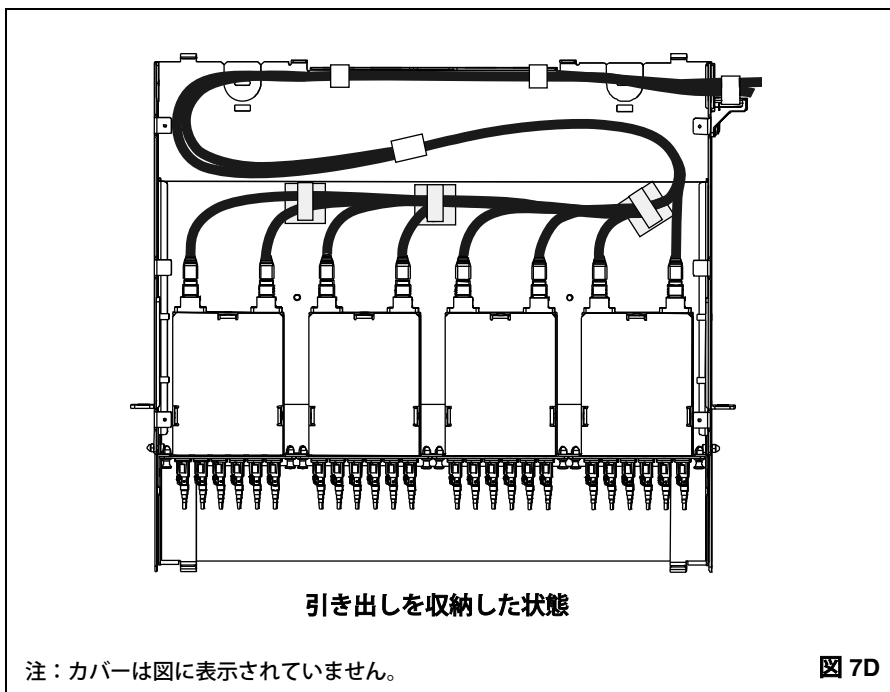


引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。



図のように、ファイバーケーブルを、ブッシングを通してカセットへ配線します。引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図7D参照）

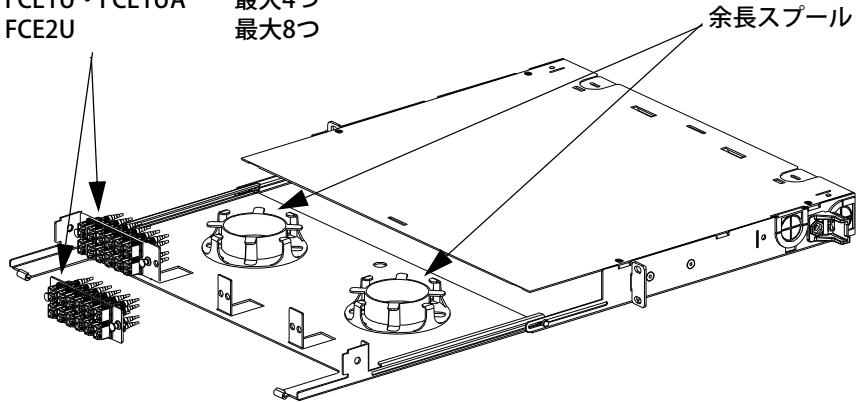
ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。



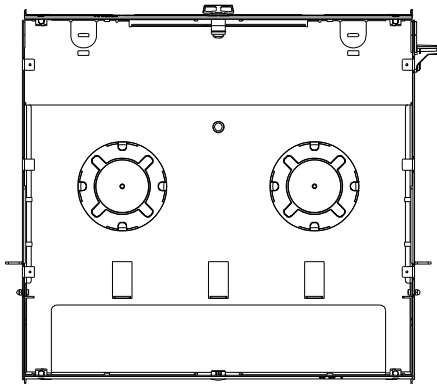
現場成端、トランクケーブル配線

ファイバーアダプタパネル収容数

FCE1U・FCE1UA	最大4つ
FCE2U	最大8つ



スプールの取り付け位置

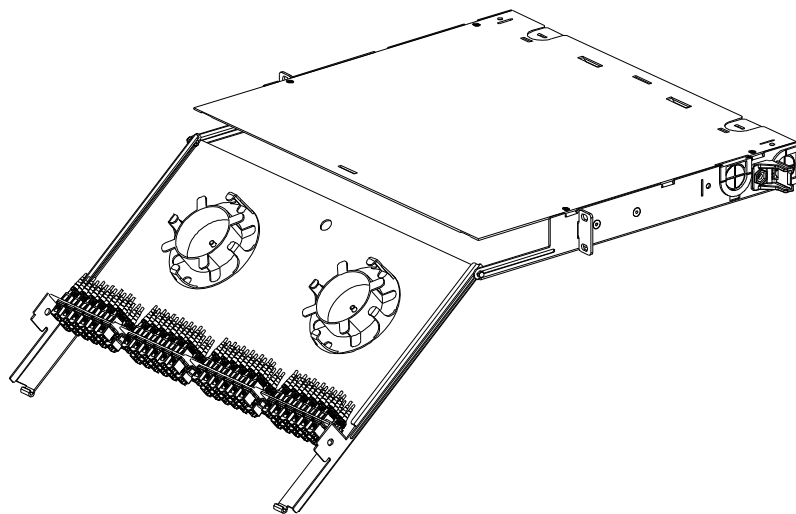


エンクロージャーを上から見た図 (カバーなし)

図 8

引き出し部分の#10-32止め金具にスプールを取り付けます。#10-32Hexナットあるいは両面テープで取り付けます。両面テープを使用する場合は、スプールの穴と同じ位置に穴を開けてください。

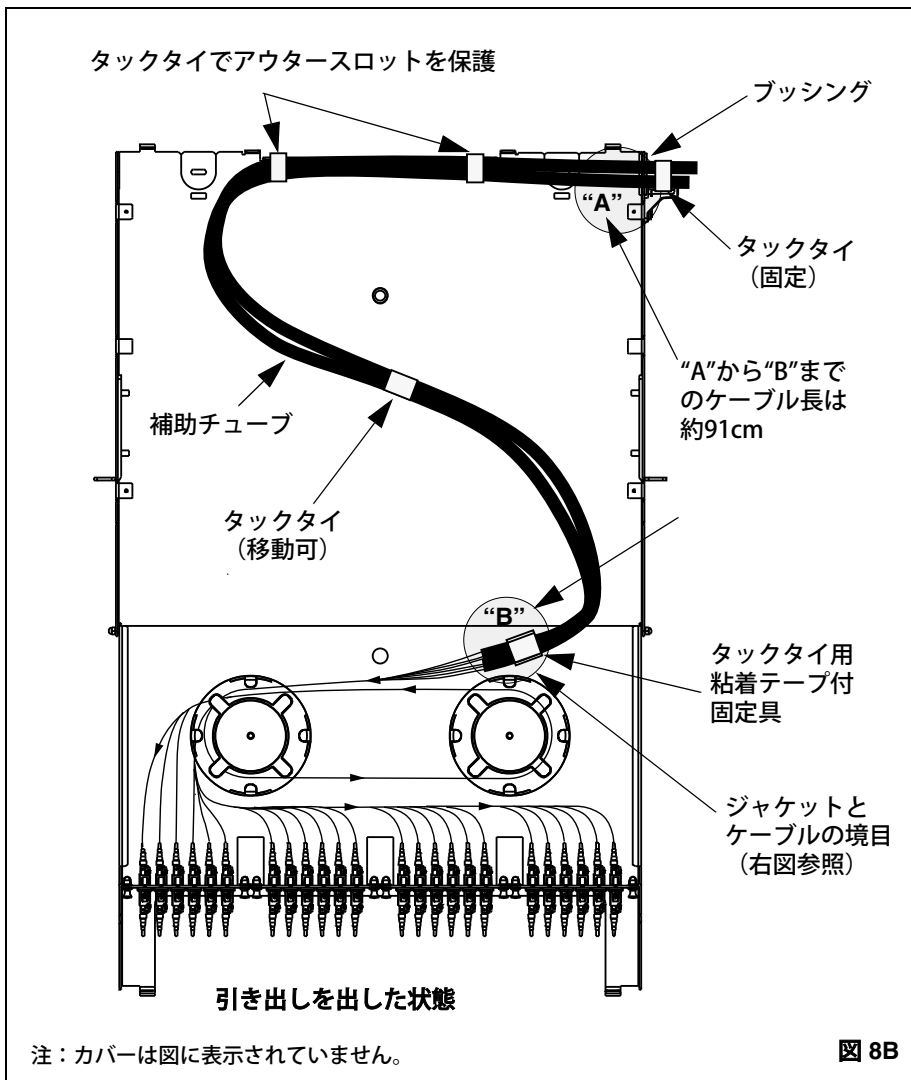
図のように、ファイバーアダプタパネルをフランジの間に取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとめ、ファイバーアダプタパネルを固定します。



図は引き出しを完全に出し、傾けた状態です。
(引き出しの状態が見えやすいよう、ケーブルは図から省略しています。)

図 8A

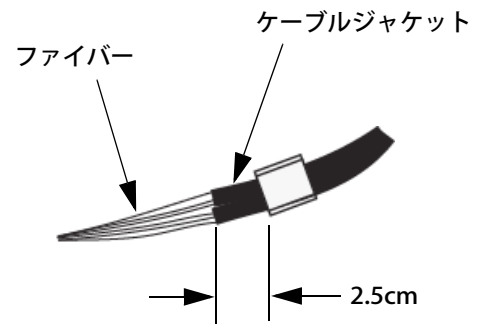
引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。



図のようにブッシングを通してファイバーケーブルを配線します。ファイバーをスプールに1周できる程度の長さ（約1.3m）のケーブル長を確保します。

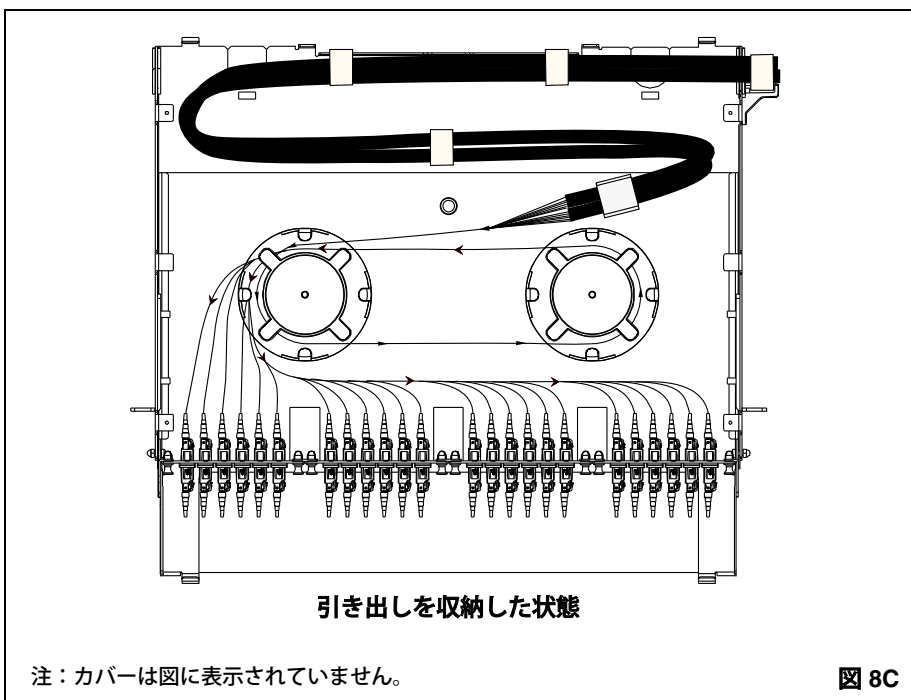
引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、ジャケット部分には十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。（図8C参照）

ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。

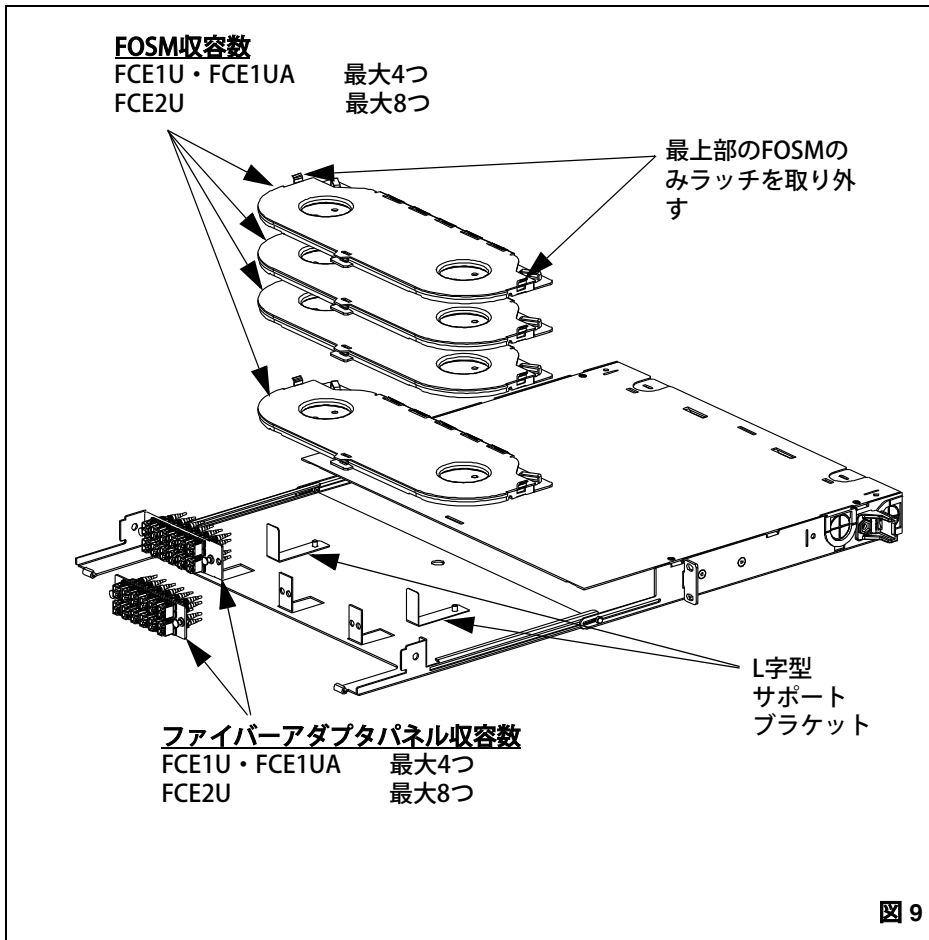


ジャケットとケーブルの境目

固定具でトランクケーブルのジャケット部分を押さえます。ファイバーを押さえないよう注意してください。



FOSM光ファイバー融着トレー取り付け (FOSM別売り)

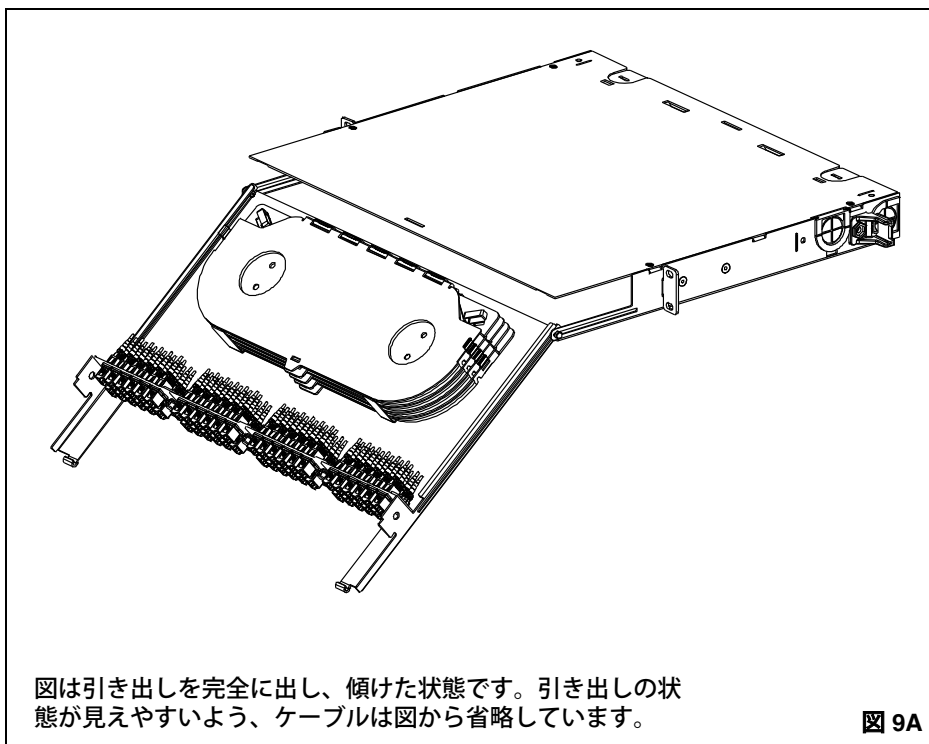


引き出し部分の#10-32止め金具にL字サポートブラケットを取り付けます。向きに注意してください。

1枚目の融着トレーをL字サポートブラケットの上に取り付け、#10-32Hexナットで固定します。残りの融着トレーは1枚目のトレーの上に積み上げ、定位置へ固定します。

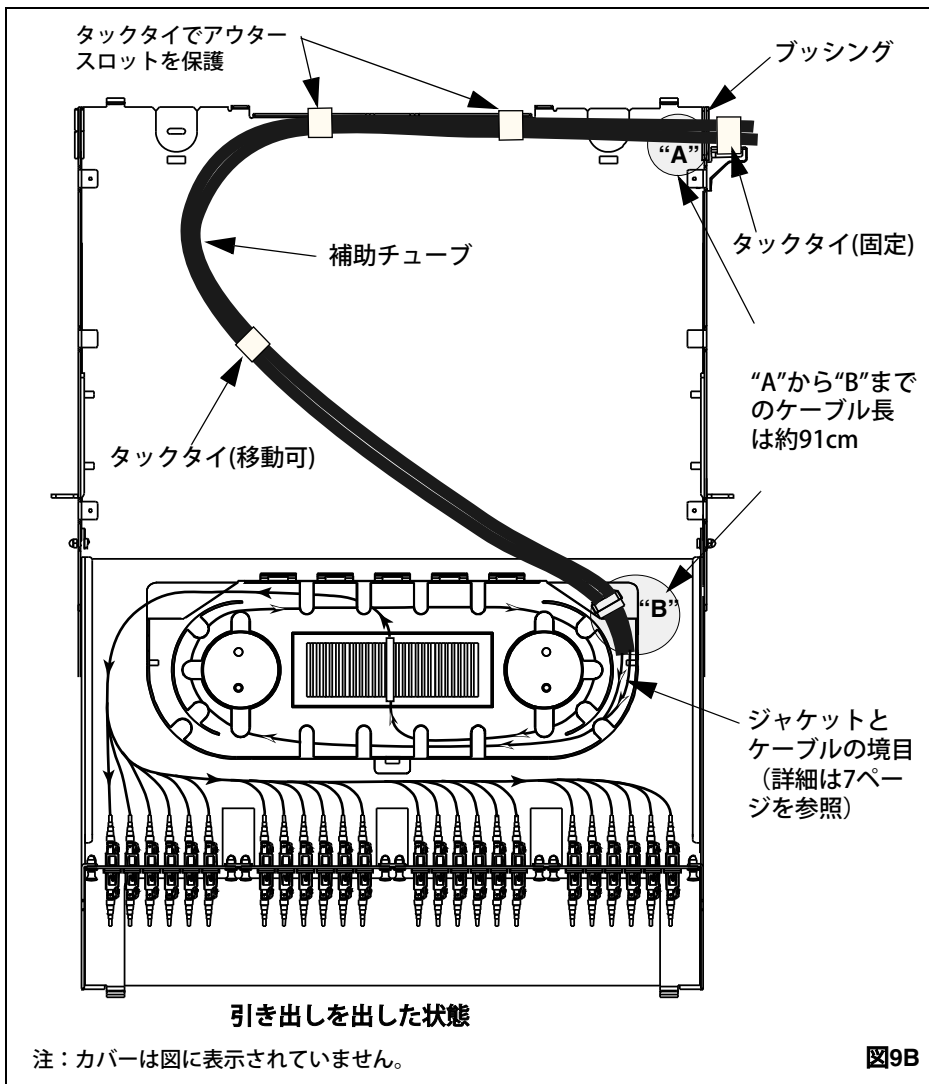
エンクロージャー (FCE1U/FCE1UA) に融着トレーを4枚取り付ける場合は、最上部の融着トレーのラッチは折って取り外してください。ラッチがあるとエンクロージャーの引き出しが閉まりません。

図のように、ファイバーアダプタパネルをフランジの間に取り付けます。取り付け後はラッチにしっかりとめ、ファイバーアダプタパネルを固定します。



引き出しを完全に出し、余長が適切か確認します。

融着トレーを積み上げる際は、各融着トレー内で融着をしてから、次の融着トレーを積み上げてください。

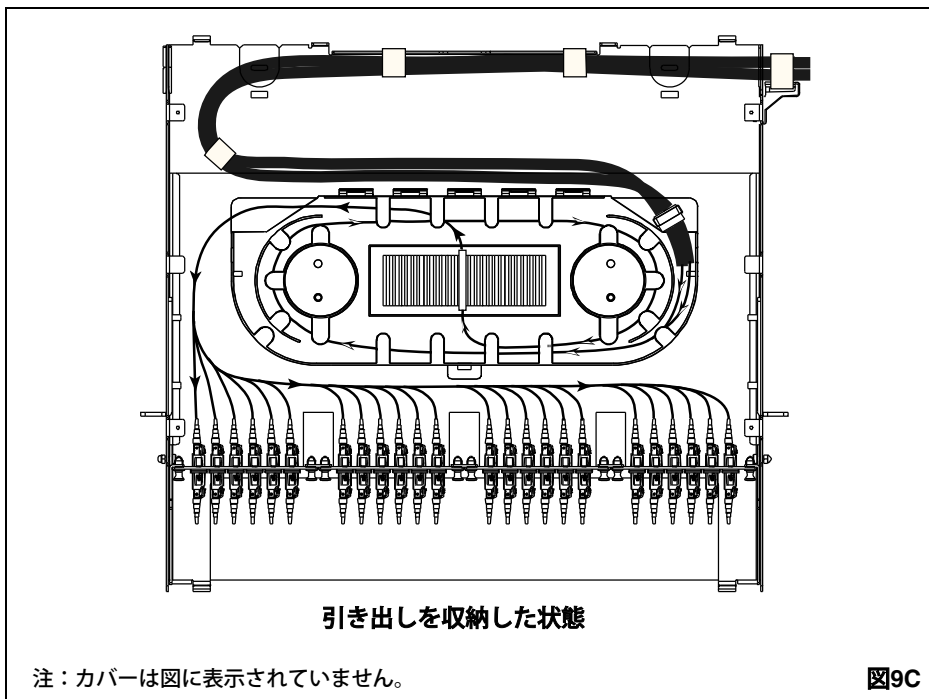


図のようにブッシングを通してファイバー ケーブルを配線します。ファイバーをFOSMスプールに1周できる程度の長さ(約1.5m)のケーブル長を確保します。

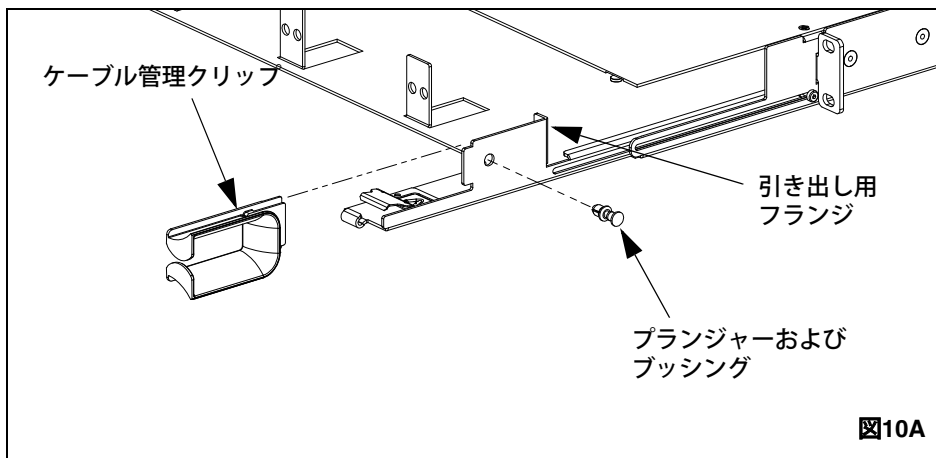
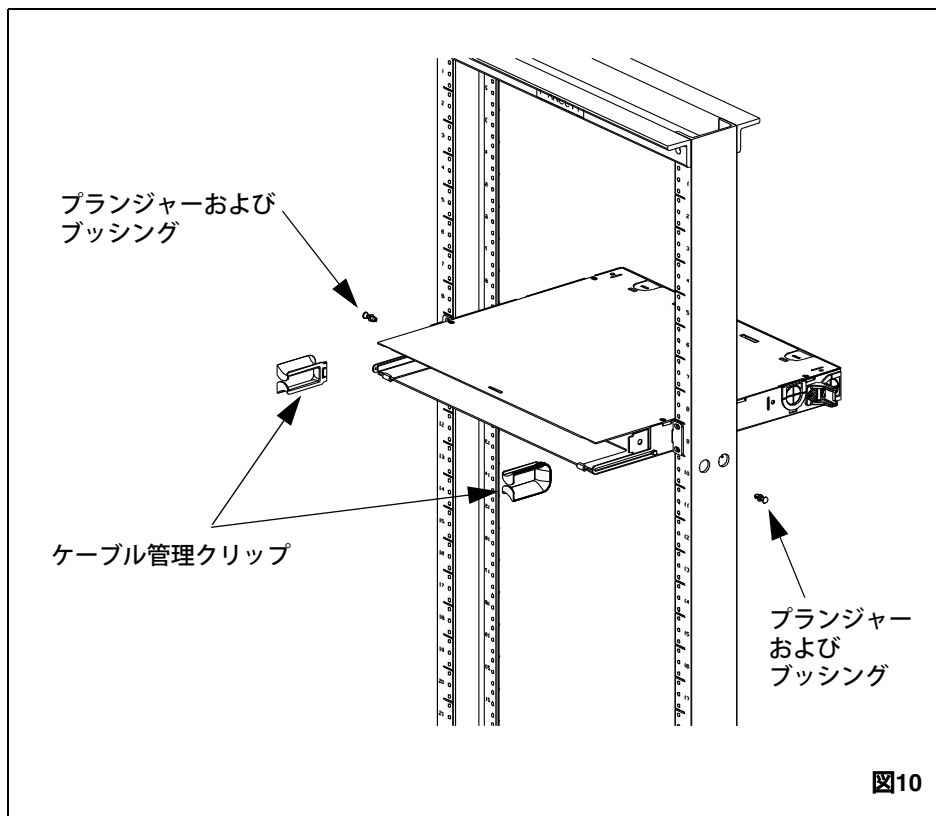
トランクケーブルの900 μ mバッファーフアイバーをピッグテールへ融着します。

引き出しを出した際にケーブルに過度の張力がかからないよう、ジャケット部分には十分な余長を確保してください。余長が長すぎると引き出しが元の位置に戻らないので注意してください。(図9C参照)

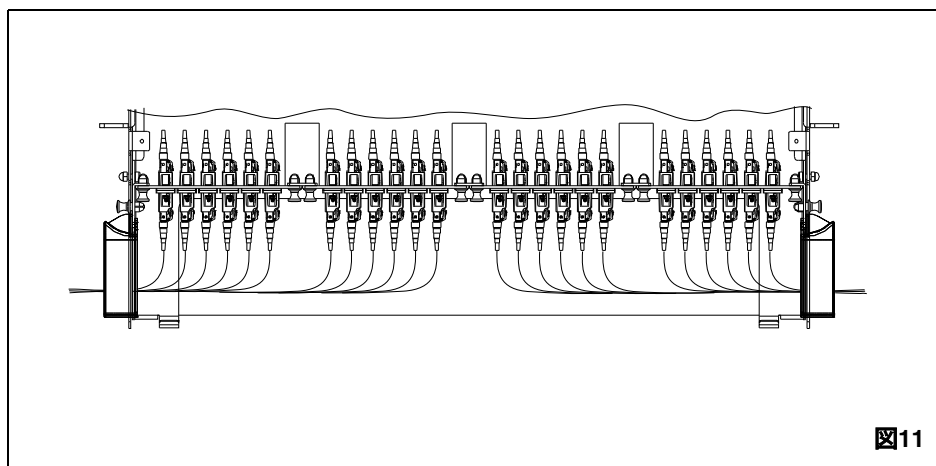
ファイバーケーブルの固定にはタックタイを使用してください。



ケーブル管理クリップの取り付け

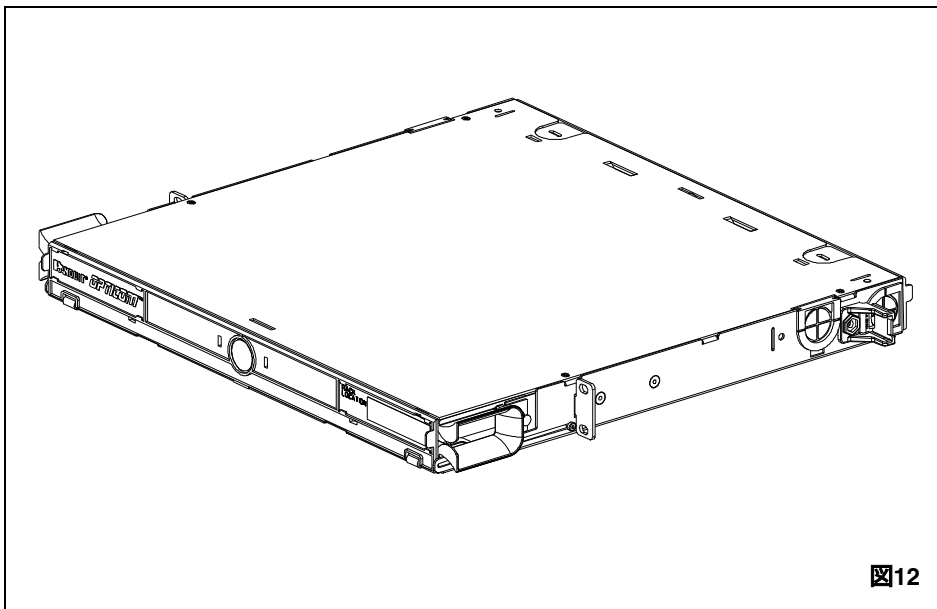


図のように、引き出し用フランジにケーブル管理クリップをスライドして取り付けます。ケーブル管理クリップとフランジの穴にプランジャーとブッシングを挿入し、クリップを固定します。反対側も同様に取り付けます。



ファイバーアダプタパネルやファイバーカセットにパッチコードを成端します。ケーブル管理クリップを通して配線することで適切な曲げ半径を維持できます。

ドアの取り付け



成端時に前面/背面ドアを取り外した場合は、元に戻します。

レーザー光線警告ラベルおよび警告ラベルを見える位置に添付します。

技術的なお問い合わせ
バンドウITT カスタマーサービス

PANDUITTM
<http://www.panduit.co.jp/>

E-mail:
jpn-toiawase@panduit.com
Tel:
03-6863-6060